

大寒は春に向かう分岐点

一年の中で最も冷え込みが厳しい大寒。早朝の空気は吐く息が白く、氷点下の冷気は皮膚を突き刺す鋭い痛みを感じ、感覚を麻痺させます。

厳しい寒さは春に移り変わる分岐点、極寒の季節は生命活動が止まったように見えるが、土の中や落ち葉の下でコナラのドングリは成長を続けています。

冬の太陽は、温かく優しい、その光が差し込み寒風を遮る場所では、キツネノカミソリが淡い緑色の葉を伸ばし、春は近いと発芽を始めました。



キツネノカミソリ発芽



落ち葉の下でコナラのドングリが根を伸ばす



冬の嵐でウラジロモミの大木が折れる

今季最強の寒波が日本列島を襲い、日本海側はドカ雪、太平洋側は雨なしで強風が吹き荒れました。

突然、穏やかだった林内に強風が吹き出し、落ち葉を舞い上げ山がゴォーゴォーと唸り、大木の幹や大枝を揺らし、ドサッと音を響かせ落下する様子に危険を感じ、林内から避難しました。

翌朝、林内は大枝や小枝が落下、その中にはウラジロモミの大木が幹の途中から折れ、ヤマザクラやミズキの大木をなぎ倒す被害が出ました。活動拠点では、ウラジロモミは希少種です。葉の裏側は特有の白いストライプ模様、葉の先端は丸みを帯び、モミに似ているが手で触っても痛くない。また大切な森の仲間を失ってしまった。



直径60cmのウラジロモミが折れる



ミズキやヤマザクラを巻き込んで倒木



ウラジロモミの葉